

令和6年（2024年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：株式会社ミツハシ

協定締結日：平成28年4月25日

活動状況：継続中

連携先窓口：事業開発本部 有馬哲也

活動資金：研究室予算

担当教員(所属)：辻井良政（農芸化学科）

活動体制（単位）：学科

関連教員(所属)：齋藤彰宏（農芸化学科）

活動目的：

- （１） 食品及び関連産業の活性化に向けた連携
- （２） 食品開発への支援を通じた国際協力活動における連携
- （３） 人材育成に関する連携
- （４） その他両者の協議により必要と認める連携

活動内容・成果：

- （１） R5 年度の収穫物を用いて、ミツハシライス社から稲花小学校（夏秋校長）の給食へ提供を開始した。
- （２） オープンキャンパスにて「鉄強化米おにぎり」を配布し、来場者より高評価を得た。また提供された全てのおにぎりの配布ができた。
- （３） 収穫祭にて鉄強化米A-3系統を農芸化学科統一本部の学生により販売してもらい、提供されたすべての鉄強化米が完売した。
- （４） ミツハシ社と次年度はさらなる販路拡大に向けて、本学・総研事務部と販売に向けた契約交渉が始まった。

<成果>

- （１） 種もみを栽培し、生産量の増大が進展した。
- （２） 栽培後の加工のアドバイスや、稲花小学校給食への提供等が実現した。
- （３） ミツハシ社から、文科省・食品成分表に記載された玄米の項目で鉄含量が鉄強化米並みに高い値であるとの相談を受けた。販売時に鉄強化という言葉の記載が難しいため、苦慮しているとのことであった。これに関して、齋藤の調査で、食品成分表の記載に誤りがあることが判明した。その内容

について、本学・総研の石見教授のお計らいで食品成分表委員会に指摘することができた。結果、将来的に成分表の鉄含量は修正が行われる見通しとなった。

課題・改善点：販売に向けたルートを模索している。また、ミツハシライス社での販売を進めるために総研との調整やロイヤリティの契約が必要である。

食育活動・普及活動

東京農大付属・稲花小学校

夏秋校長はじめ、栄養士の先生、各学年の先生方のご指導下で実施



- コメのFe栄養価の重要性を指導できた。
- 味に関する生徒のコメントを受けた。
 - ▶子供たちが食べやすいよう今後の改良の参考に

東京農大イベントでの配布・販売

東京農大の連携協定企業とのコラボレーション事例

オープンキャンパス



収穫祭（文化祭）

